

○議長（森 弘秋君） 2番 良峯喜久男君。

○2番（良峯喜久男君） 2番良峯でございます。今回も私からは、安心・安全に住める舟橋村を目指す中での質問をさせていただきます。

1点目ですが、舟橋村には地域の安全を見守る活動が舟橋村安全なまちづくり協議会のもと日々執り行われており、その活動に敬意を払うとともに感謝を申し上げるところであります。

その活動の一つで、ばんどりパトロール隊が4月から12月までの間、毎月20日夜間8時ごろから村駐在所長のパトカー先導のもと、青色防犯パトロール車で巡回されております。その巡回報告の中から、リラフォートふなはしからオレンジ・パーク舟橋駐車場までに新設された道路間に街灯がなく暗いとの報告がされていると聞きます。また、11月29日に開催されました舟橋村警察官駐在所連絡協議会におきましても、西村駐在所長からもお願いされているとお聞きしました。

私も実際に夜間現地に出向き確認したところ、認定こども園前駐車場には街灯がありますが、この道路には街灯がなく暗く、また民家もありません。昨今のいろんな事件等を鑑みるに、事故は未然に防止することが重要です。

安心・安全のためにも設備をお願いするところではありますが、村当局の対応をお聞かせお願いいたします。

次の質問ですが、本会議での金森村長の提案理由説明をお聞きする前に通告をしていたものですから、回答がなされているところではありますが、再度、65歳以上の高齢者対象の医療実態調査の分析、対応策についてお聞きします。

舟橋クリニックがことし3月で閉院されて、8カ月余りが過ぎました。9月議会におきまして、医師不在状況の加藤智恵子議員の質問に、金森村長は、早急な対応策を論ずることなく、村民が願っている医療ニーズ把握のため、65歳以上の高齢者を対象に、保健師の出前による医療実態調査を10月中に実施すると答弁されております。その調査された結果の分析、対応策等の検討はなされているのでしょうか。

また、村長は調査資料に基づき、議員の皆さんと協議させていただきたいとおっしゃっておられます。

私自身65歳以上になって、インフルエンザ予防接種の予防接種券が届くようになりましたが、本村の対象は、いわゆるたてやまつるぎ在宅ネットワークに加入されている医療機関での接種に限られます。富山市、滑川市など中新川以外の医療機関で診てもら

っている者にとっては、少し不便さを感じます。また、今まで舟橋クリニックでの接種を受けていた高齢者にとっては、もっと切実な問題ではと考えます。新しい医院に接種に行くにしても、運転ができない人が外出支援サービスを利用しても、原則、舟橋村内と限られており、それからの交通手段は自費となり、経済的負担が増します。将来的にはもっと高齢者の増加が推測される中、外出支援の運行エリアの拡大などの福祉医療等にかかる対応、生活支援サービスの見直しが必要だと考えます。

そこで、調査報告に基づき、今村長はどうお考えなのかお聞かせをお願いします。

○議長（森 弘秋君） 村長 金森勝雄君。

○村長（金森勝雄君） 2 番良峯議員のご質問にお答えをいたします。

初めに、新設道路における街灯の設置についてであります。

ご承知のとおり、ふなはし認定こども園から京坪川河川公園につながる村道東芦原舟橋駅線の改良事業は、平成 2 8 年度から 3 カ年をかけまして施工いたしました。平成 3 0 年度に整備が完了したところであります。

沿線には認定こども園のほかりラフォートふなはしや学童保育施設も隣接しており、また本村地方創生に掲げる子育て共助のモデルエリアに位置づけられている場所でもありますので、周辺の防犯対策の必要性は十分感じているところであります。

議員ご指摘の村道東芦原舟橋駅線の街灯設置につきましては、来年度に実施を計画していますので、令和 2 年度の当初予算に予算計上を予定しております。

なお、街灯につきましては、当該村道には電柱の設置が難しいことがありまして、過年度のこととなりますが、平成 2 4 年度に村道稲荷古海老江線で設置いたしましたようなソーラー充電式の L E D 灯の設置を予定しております。

次に、医療実態調査の件についてであります。

本調査は、本村の 6 5 歳以上の方の医療状況と舟橋クリニック閉院に伴う影響等を把握することで、本村の医療施策の検討に資することを目的に実施したものであります。

対象者は、1 0 月 1 日現在で 6 5 歳以上の方のうち施設入居者 3 6 名を除きます 5 4 9 名の方といたしまして、1 0 月から 1 1 月の 2 カ月間にわたりまして、戸別訪問による調査を実施したところであります。

調査の内容は、現在治療中の疾患名や通院医療機関、通院頻度、通院手段及び服薬状況でありまして、その回収率は 1 1 月 3 0 日現在では 9 2 % でありました。

現在、調査結果を集計・分析中ではありますが、調査結果の一部を報告させていただき

たいと思います。

まず、通院医療機関数や疾病数では、年齢が上がるほど増加傾向にあります。また、回答にありました疾病のうち、生活習慣病であります高血圧治療者は全体の40%を超えており、通院医療では、富山市に通院している割合が68%と多く、次いで上市町が約26%、立山町が約11%となっております。富山市の中でも総合病院に通院する住民が多く、頻度も月に1回から2回の受診者が60%以上を占めておるのであります。

また、交通手段では車が90%以上を占め、そのうち約半数の方がご自身で運転している状況であります。

次に、舟橋クリニック閉院に伴う影響についてであります。困っていないと回答された方が約30%、今は困らないが、将来は不安が約15%、村内に医療機関を望んでいる方が約27%となっております。

また、インフルエンザの予防接種につきましては、補助対象が中新川地区内に限定されていることから、村内に医療機関があれば安心で便利との意見もありました。

一方では、村内に医療機関があっても、信頼する現在のかかりつけ医師に通院し続けたいという意見も多いことがわかってまいりました。また、車が運転できない場合の通院では、500メートル歩くのも困難との回答も多いことから、交通手段の確保もあわせて考える必要があることや、年齢が上がるにつれて疾病を重複して患っているケースも多いことから、単に医療機関の誘致だけではなく、総合的な疾病管理が必要であると報告を受けております。

今後の取り組みにつきましては、現在分析中の本調査の結果を踏まえまして、議員の皆様と十分協議を重ねながら対策の検討を進めてまいりますので、何とぞご理解、ご協力をお願い申し上げます、私からの答弁とさせていただきます。